

②

正平調

①

「銀河鉄道の夜」で、学校を終えたジョバンニが向かうのは印刷所だ。そこで指示通りに、ピンセットであわ粒ほどの小さな活字を拾って箱に並べていく。文選工と呼ばれた仕事である◆昭和から平成になるころだったか文選工泣かせの歌人について書いた短文を読んだ。原稿を手に活字を拾うのだが、ついほろっとさせられ視界がかすみ、拾い間違えてしまう。誤植の多い歌人、それは石川啄木◆職場の人間関係、ふるさとの思い出と友情、闘病、そして終生苦しんだ金銭の悩み。思ったこと感じたことを、つぶやくようにどんどん歌にした。喜びあり悲しみあり。読み手の置かれた状況に応じて、どれかが心に響く不思議な歌人だ◆昨年来の物価高を受け、この春は賃上げを求める声が例年になく高まった。中でもアルバイトや契約社員の人たちの叫びは切実。「待遇差が大きすぎる」「どう頑張れと言うのか」。はたらけど、はたらけどの日々が続く◆春闘で最高水準とされる給与を手にした大手社員がいれば、まだ交渉中の中小や非正規の人たちも。啄木の歌より。〈新しき明日の来るを信ずといふ自分の言葉に嘘はなければ〉◆今春、統一選で立候補者が口にした「格差をなくします」の言葉に嘘はないか

③

2023.5.1

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

左の記事を読んで、後の問いに答えましょう。

①傍線部①「銀河鉄道の夜」の作者名を漢字で書きましょう。

②傍線部②の歌人は石川啄木ですが、石川啄木が文選工泣かせと言われるのはどうしてですか。その理由を「～から」に続くように本文中から1文で抜きだし、最初と最後の3文字を書きましょう。

③傍線部③にあるように、5月1日はメーデーです。メーデーは何の日か答えましょう。

①

[Blank box for answer 1]

②

[Blank boxes for answer 2]

から

③

[Blank box for answer 3]